

～ Smile いっぱい！かがやく湯江っ子のために ～

SCRUM

島原市立湯江小学校
学校だより No.28
令和7年1月17日(金)
文責：校長 大槻浩二

新年の意欲を「書初め」で

3学期、最初の行事は書初めです。それぞれの学年の課題にそって、体育館や教室で心を込めて書きます。1・2年生は、硬筆です。3年生から6年生までは、体育館で毛筆の条幅に挑戦しました。



書初めをする意味は、大きく次の3つがあります。



① 1年の目標を立てる

1年の目標や抱負を具体的に書き出すことで目標達成の意識を高めることができます。

② 心を清める

清い紙に墨で文字を書くことは、心身を清める行為と考えられてきました。1年の始まりに心を清め、新たな気持ちでスタートさせることができます。



③ 書道の学び

書道を通して、文字の美しさや奥深さを学ぶことができます。

1月21日は、湯江小学力調査です！

今月21日(火)に全校一斉に本校独自の学力調査を実施します。今年度は、国語・算数の2教科を行います。担任から携行品の連絡があると思いますので、学習用具の準備をお願いします。

本学力調査の目的は、1年間の当該学年における学習内容の定着具合を確認し、改善を図ることにあります。結果をすぐに分析し、「一人も取り残さない」「積み残しをしない」を目標に、課題改善に生かしていきます。ご協力をお願いします。

* 学校は今「なわとび」の季節。子どもたちは、短縄や長縄をがんばっています。長縄は、学級の団結力を高めるためにもいい種目です！



【特集】歩いて登校しましょう！ ～自立を促す「歩育」の勧め～

3学期に入り、一段と朝の冷え込みが厳しくなってきました。朝の子どもたちは、ふとんから出ることや登校を渋ることはありませんか？ そんな時、つい安易に子どもを車で送ってはいませんか？

湯江小学校は、送迎が多いと感じています。朝の立哨指導で正門前の混雑には、実に驚きましたし、交通事故の危険性を感じたことがあります。校区の広さから通学に遠距離の子どももいるとは思いますが、それだけが要因ではないようです。

荷物が多かったり、雨が降っていたりする時、子どもがかわいそうと感じ、車で送ってあげたいと思う親の気持ちは理解しますが、そのことが本当に子どものためになっているのか、一考を要すると思います。安易に送迎することで、つらい時にすぐに人に頼ることにもなります。子どもの将来の姿を描くとき「登下校は、自分の足で歩かせる」ことは、大きな意味があり、他のことにも波及する大切なことだと考えます。子どもの自立を促すためにも、「歩くこと」から一緒に考えてみませんか？

「歩育」という言葉があります。「歩いて自然や社会に触れ、五感を開き、体で学ぶ直接体験をとおして、子どもたちの豊かな心、生きる力を育てる教育」です。文字どおり歩く教育であり、右のような効果が実証されています。

大荒れの天気、体調不良やけが、通学距離や場所等、安全確保のために必要な送迎もありますが、日常的には、ぜひ歩いて登校させてほしいと思います。遠距離の場合は、学校の手前の安全な場所から、少しでも歩かせてはいかがでしょう？

【体力が付き、食欲、質の良い睡眠へ】

片道1kmを歩くとしたら1日で2km。それを2年間続けたら400km、6年間で2400km。歩くだけで、自然と体力が備わります。歩けば自然とお腹も空き睡眠にもつながります。

【忍耐力・持久力が備わる】

雨が降っても保護者の方が送り迎えをしてくれなかったら、自分で歩くしかありません。自分の足で歩かなければ、学校にも着かないし、家にも帰り着きません。だからこそ、自然と忍耐力や持久力がつきます。

【コミュニケーション能力の向上】

登下校中、出会った人と挨拶ができます。交通指導員さん、見守りの皆様だけでなく、地域の方ともコミュニケーションをとることができます。顔を知ってもらうことで、新たなみんなの見守り役にもなってくれます。

集団登校では、他学年とのかかわりの中でたくさんのお話を学ぶことができます。

【感性が育つ】

咲いている草花、肌にあたる風…、四季の移り変わりを感じることができます。自然に触れることで五感が刺激され豊かな心を育みます。

【集中力・学力につながる】

歩いて登校することにより、全身が温もり、血液が循環し脳に十分な栄養も補給されます。学習が始まる前のウォーミングアップ、ストレス軽減など、よい影響があります。

【安全意識の向上】

交通ルールを学び、周囲の状況に気を配り、不審者や危険な場所を避けることを身につけることができる。

【保護者のみな様も、朝の時間の余裕が

生まれ、朝の送り出しも Smile！】